



9
 2013

主題 (2013/2014)

国際会長 Go Ye Into All The World Extension Extension Extension
 「全ての世界に出て行こう」 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」

アジア会長 Start Future Now One Asia One World
 「未来を始めよう、今すぐに」 「ひとつのアジア、世界はひとつ」

西日本区理事 Attend club meetings with a clear motive to make the most of them
 「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。」

中西部長 「ワイズの価値を見直そう」

大阪クラブ会長 「85年を振り返って更なるYのサポートを」

会長	石橋ルキ
直前会長	北村知三
副会長	五条孝次郎
	脇本博利
	豊島正汎
	清水大盛
書記	牟田達司
会計	村井伸幸
プリテン	松原伸幸
連絡主事	藤岡宏樹

【今月の聖句】

「心の貧しい人々は、幸いである。天の國はその人たちのものである。悲しむ人々は、幸いである。その人たちは慰められる。」
 マタイによる福音書 5章3～4

【9月例会プログラム】(メネット強調月間)

とき：2013年9月10日(火) 18:15～20:15
 ところ：大阪土佐堀YMCA 9階

司会 脇本 真知子メネット会長

- 1. 開会の鐘 石橋 ルキ会長
- 2. クラブソング
- 3. ゲスト紹介
- 4. 会長報告
- 5. 「日々の糧」斉唱・晚餐
- 6. 「2013年度HH阿南海洋キャンプ報告会」
藤岡連絡主事、HHリーダー会メンバー
- 7. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
- 8. インフォメーション
- 9. YMCAニュース
- 12. 閉会の鐘 石橋 ルキ会長

受付：崔・北村メネット



於：8月例会

【第2例会のご案内】

とき：2013年9月17日(火) 19:00～
 ところ：大阪土佐堀YMCA 5階 504号室
 (変更になることがありますので、ご注意ください。)



パサデナ交換留学生ページ・ロバーツさん到着（関空迎え）



於：ページ・ロバーツさん歓迎会



於：HH国内キャンプ



於：HH国内キャンプ

今月の誕生日：牟大盛（1）尾和信孝（10）

メネットさんお誕生日：清水佐智子（10）北村信子（11）

ご結婚記念日：村井達司（23）

【聖句に寄せて】

石橋 ルキ

心が貧しい人とか、悲しんでいる人々というのは、かえって新しい現実に関が開かれる。彼らは真に満たしてくれるもの、慰めてくれる方に出会うことができるのだらう。

新しい現実とは、世の中に満ち満ちている。不安や矛盾が取り去られ、自由な喜びと希望に満ちあふれた世の中に変わると言うことである。

【8月出席状況】

8月出席状況	在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ タ ー	出席率	二献 コ金 ニ コ
正会員	16	10		3	13		62.5%	24,000円
功労広義会員	2							
合計	18	10		3	13			

HH（聴覚障ガイ）基金オークション：¥22,000

8月例会の出席者

メネット：脇本真知子・崔金順・村井ともみメネット

ビジター：なし

ゲスト：マンドリンクラブ 善旦会の皆さま・吉田耕一・島隆司・西畑史和・志賀正美・神野晋司・
稲谷嘉平・岩崎 稔さん
岩崎季子さん
金徳金さん（崔メネットのお母様）
HHリーダー会・西村智恵会長、小山真利子、勝矢千晶、桜木貴博さん

B F 報告（担当能勢）

新切手	清水 汎メン	1,600円	
リストコイン	清水 汎メン	167円	累計 2,896円

【85周年特別例会開催について】

1928年11月10日 日本にワイズの灯が点灯した日であります。

日本のYMCA会員は、大志を抱いてワイズメンズクラブを大阪の地につくり、国際協会に加盟を果たしました。以来85年、我々ワイズメンは、YMCAとの協働体で在り続けました。このことは、YMCAとワイズの長い歴史のなかで、かわらないことであり、だからこそY.Yが協働できる原点でもあります。同時に、ワイズメンとしての歩みを日本区の歴史の中に綴ってこられた先輩諸氏に、あらためて心から感謝を捧げるものであります。

今回「大阪クラブと大阪YMCAの絆」をテーマにパネルディスカッションを行います。
多数のワイズ諸氏の御出席をお願い致します。

大阪クラブ会長 石橋 ルキ
実行委員長 尾和 信孝

【クラブ役員会報告】報告者：書記 牟 大盛

日時：2013年8月22日(木) 18:15～19:00

場所：大阪キャッスルホテル錦城閣3F

出席者：北村知三・脇本博・清水汎・松原伸幸・五条孝次郎・能勢嘉則・條イサヨメン

協議事項

1) 9月例会（メネット月間）

司会：脇本真知子メネット会長、
スピーカー：藤岡連絡主事、HHリーダー会メンバー
「2013年度HH阿南海洋キャンプ報告会」
食事：シンエイフード 準備：スクリーン、プロジェクト他
受付：北村・崔メネット

2) HH支援事業の件：2013年HH国内キャンプ

：大阪クラブ支援基金拠出について：25万円範囲内（区CS基金から9万円補助）

3) 2013年11月の大阪クラブ85周年記念事業の件（兼、実行委員会）尾和実行委員長（周年例会決定内容）確認事項

- 「創立85周年記念例会」は、2013年11月2日（第1土曜日）午後2時から土佐堀YMCA 903号室にて、11月例会として開催する。
- 創立例会の持ち方：一部（パネルディスカッション）

題目「ワイズメンとYMCAとの絆」

「広げようワイズメンズの心意気」大阪クラブの過去・現在を振り返り、未来を語る

：コーディネーター（松原メン）の総合司会のもと、過去を（清水汎メン）、現在を（脇本博メン）、未来を（末岡総主事）に発題していただく。

二部：茶話・懇親会 司会：牟・進行内容：来賓紹介と挨拶など

：当日は、クラブメン・メネット総出で奉仕をする。

：予算として10万円（部屋代・菓子類）を予定する。

- 聴覚障がい（HH）支援基金の残高の積み増しのFUNDについては、「HH基金への献金のお願い」をプリテンへ毎月記載をする。

- チラシを600部印刷し、参加各部会で配布する。

4) その他：

2013年度各部大会参加の件：（参加者）

・ 8月31日：中部部会

・ 9月1日：京都部部会：清水汎次期部長

・ 9月7日：六甲部部会：石橋ルキ会長

・ 9月14日：阪和部部会：牟大盛書記・清水汎次期部長

・ 9月15日：中西部部会：清水汎・脇本・北村・村井・牟・脇本真知子メネット・能勢嘉則（7名）

メネット会：脇本真知子メネット会長

・ 9月28日：西中国部部会

・ 9月29日：九州部部会

・ 10月5日：びわこ部部会：豊島正利

・ 10月12 - 13日：瀬戸山陰部部会

パサデナクラブ（IBC）ホームステイ受け入れの件

Miss Paige Roberts(19才) 8月19日から30日までホームステイ実施中

プリテン編集方針について：松原プリテン委員長に一任

中西部の次期主査（5主査）を9月末まで、打診する。（清水次期部長）

8月納涼例会 収支報告

	収入	支出	会計 村井達司 差引
会費	91,000		
宴会費(キャッセルホテル)		130,000 (26名×5000)	
合計			39,000

(赤字分は、ニコニコで負担とします。)

Paigeさん歓迎会 収支報告

	収入	支出	会計 村井達司 差引
会費	60,000		
宴会費(錦城閣)		68,000 (17名×4000)	
合計			8,000

(赤字分は、ニコニコで負担とします。)

なお、IBC費用・・Paigeさんホームステイ補助金 110,000円拠出

【 8 月例会報告】

清水 汎

8月13日〔火〕大阪キャスルホテルで恒例の納涼会が26名の参加で行われました。

石橋会長が阿南でのH.Hキャンプに参加されて名誉の負傷をされ、北村前会長の開会点鐘され会長代行で挨拶もされました。

この日の司会は能勢メンがされ、新メンバーですが、馴れた司会をされ、頼もしいメンバーが出来嬉しく思いました

昨年と同じく脇本メンの紹介で和歌山大学OBの善旦会のメンバー7名、奥さん1名の8名の参加があり、マンドリンの夕べとして合奏され、素晴らしい音色を聞かして頂きました。和歌山ブルースなど日本の歌を10曲、最後に東北震災の応援歌、花を咲かそうを皆で合唱しました。

その後日々の糧を斉唱の後、会食、歓談を皆さんで行いました。

この後H.Hキャンプファンドのためオークションが開催され、会員皆さんの協力で無事終了することが出来ました。

この後H.Hキャンプの報告が藤岡連絡主事、OBOGからありました。報告者はリーダーの西村、小山、桜木、勝矢の4名からされました。キャンプでの行事、楽しい思い出などいろいろ報告されました。会員の参加は、メン10名メネット4名で、全員の参加がなかったことは大変残念なことです。これからは他クラブとの交流を深め30名程度の会にしたいものです。

閉会点鐘が次期会長の五条メンからされお開きとなりました。

【 I B C (International Brother Clubs) 報告】

脇本 博

大阪・パサデナクラブ夏季留学生交換プログラム2013

この8月19日パサデナクラブからページ・ロバーツ嬢が来日されました。サンフランシスコから仁川空港経由で午後8時50分定刻に関空へ無事到着。田尻ご夫妻、脇本夫婦が出迎えました。滞日初日から三日間田尻ファミリーにお世話になりました。田尻メン(東京山の手クラブ)は東京のYMCA同盟に転勤されたにも拘わらず、このプログラムのために夏休みを取って帰阪してくださいました。篤くお礼申し上げます。

20日 22日高野山、白浜、阿倍野、心齋橋近辺観光。22日夜キャスルホテル錦城閣にて、中西部交流主査入江保夫メンのご臨席を仰いで、歓迎式典を実施。計16名の出席者で大いに盛り上がりました。

22日夜から脇本が引継ぎ。23日は京都観光、24日は梅田空中庭園、お化け屋敷、箕面の純和式旅館。

25日夕は北村メン宅へ。26日は中山寺、清荒神、手塚治虫記念館、スカイパーク、近隣のショッピングモール探索。27日朝、清水メンに引き継ぎ、大阪城観光、阿倍野でショッピング、28日は住吉神社見学と、ローカルストリートを見たいということで粉浜市場、百均ショップ見学。帝塚山学院見学、夜は京セラドームで、オリックス対日本ハムのナイター観戦。夜は清水メン宅に宿泊。29日朝、牟メンが清水メン宅へ出迎えに、関西学院、大阪芸大の女子学生さんらと神戸の異人館、トーアロード、三の宮、中華街を観光。夕方梅田地下街、グランフロント大阪、観覧車も乗りました。牟メン宅に宿泊。翌30日、12時50分関空発アジアナ航空で帰米の途につかれました。牟御夫妻と脇本メネットが見送りました。

滞在中の日程を以上報告しました。

ページさんについてのノートにステイ先で、何処へ行ったか、何をしたか、どんな話しをしたか、何を食べたか、何が好きか、食事で何が苦手か、次に何をしたいかなど、彼女が楽しくすごせるように記入して次の家庭に申し次ぎます。またホストが感想を書き送るのですが、皆様共通して彼女の人柄と聡明さと育ちの良さを褒めていました。

ページさんは大変優秀な学生さんで、勉学のみならずスポーツも大好きでよく気の付く利発で明るいお嬢さんでした。息子しか育てたことない小生にとっては楽しい三日間でした。私が男の子ばかりの家と申しま

すと、私が始めての女の子になりますと言ってくれました。お世辞でも嬉しかったです。上記のようなハードスケジュールでしたが、皆様のおかげをもちまして、彼女の希望はすべて叶えられたと思います。来日する数日前に Jeff 会長から、彼女は毎日ジョギングしているので、本人の希望を聞いてやってくれと連絡がありました。しかしこの夏の暑さと疲れでさすがのアスリートもジョギングしたいとは言いませんでした。皆様のご家庭においても、すがすがしい印象を残し、もう少し居て呉れて話しをしたかった、また居ないと寂しいような感じになられたのではないのでしょうか？彼女も良い思い出をたくさん胸に抱いて、今後の成長の糧を沢山得てご両親のもとに帰られたと思います。

今年の一月から Jeff Brandeen 会長とメールのやり取りで、プランをたてました。HH キャンプに参加できないことを大層申し訳なく思っていました。また、このプログラムは大変な労力を要することだが、中止することなくお互いに努力することを確認いたしました。

理念は両クラブの子弟の交換を通じて、親善を深め、また青年達の国際理解を深める活動であるということです。また、できることとできないことを、はっきり伝え、また互いに無理をしないことが大事です。今年は皆頑張りましたが、いつもこのように頑張れるとは限りません。できるときにはするし、できないときにはステイ先の家にじっと居てもらっても良いと思います。当方から訪米した学生もそのような時がありました。双方とも決して無理をしないことがプログラムを続けるのに大事なことと思います。何処のご家庭でもお世話出来る年と出来ない年があると思います。決して無理をしないでおきましょう。また、今回は女子学生ということもあり、皆様も大変気を遣われたことでしょう。実は向こうのお母さんも女の子の一人旅ということでかなり神経質になっていたようですが、ジェフ会長と私とのやりとりを通じて、両クラブ間の信頼感がお母さんの心配を払拭したものだと思います。

ちなみにパサデナクラブとは1948年にIBCを結び、1970年に学生交換プログラムが始まっています。今まで日本からは23名を送り出し、パサデナからは24名が来日し、言わば輸入超過となっています。来年は当方が送る番です。

ワイズ運動に参加して、IBCのお役目を頂き今夏のプログラムを無事故で有意義な形で終えられたことは、本当に皆様のご協力の賜物と感謝しております。またこのお役目を楽しんでさせていただきましことも含めて私自身皆様に二重に感謝申し上げます。

尚、パサデナクラブの Jeff 会長からは数度に渡って、この度のページさんの受け入れについての感謝の意と大阪クラブの皆様宜しくとのメールを頂いております。

歓迎会出席者 敬称略

ページ・ロバーツ、北村直前会長（石橋会長の代理として歓迎のご挨拶をいただきました。）中西部交流主査入江保夫、牟、清水、條、松原、五条、村井、能勢、脇本、北村メネット、田尻メネット、脇本メネット、清水コメット（大裏道代）北村コメット、田尻コメット、脇本メネット

ホームステイでお世話頂いたファミリー（敬称略）

田尻忠邦、田尻寿賀子、田尻悠紀

脇本真知子、脇本京子、脇本由香

北村知三、北村信子

清水汎、清水佐智子、大裏道代、大裏康記、山本 須美子

牟大盛、崔金順、尹 美恵、曹かなえ

この紙面を借りて心よりお礼申し上げます。

付記

ページさんの履歴書 A4 に余すところ無く 5 枚にわたって、学業、スポーツ、地域貢献、インターンシップ(将来へむけての就職活動と社会勉強のため、企業や事務所でアルバイト)について記述がありました。米国もいろいろな経済、社会問題を抱え、決して健全な国家とは言えません。しかし、彼女の履歴書をみて米国の優秀な学生の一面を垣間見た気がします。勉学については米国では GPA, SAT Score, AP test Scores 等の全国規模の模試(?)があり、自分の学力の到達度がどの程度かわかる仕組みになっております。何時ころからかゆとりと個性を尊重しだした日本の教育とはずいぶんかけ離れたものです。教育については日米が逆転したようです。アメリカ式がすべて良いとは言いませんが、国土も資源も少ない日本はもっと真剣に教育を考える必要があるのではないかと思いました。また物心がつく年齢(中学生)になると、地域への奉仕に参加し、幼いながらも皆で議論しながらものごとをやって行く。子供の時代から訓練されます。これも素晴らしいことです。上智大学名誉教授の渡部昇一先生が言うような「皆の衆による」アメリカ流の民主主義の土台を見たような気がします。日本も他国には無い良さを持つ良い国ですが、これからいろいろな面で頑張れニッポンです。皆様と共にお世話させて頂いて大変勉強になりました

【HH国内キャンプ報告】

條 イサヨ

8月9日から11日まで2泊3日阿南海洋センターでのHH国内キャンプが、お陰さまで無事終了しました。

私は阿南市在住なので、橘町から乗車し、帰りも一足早く下車させていただきました。そのため道中の報告はなく、現地での活動のみです。

9日昼に海洋センター到着。昼食、オリエンテーションの後、各自キャビンへ。水着に着替えてグラウンドに集合、ライフジャケットを着て浜へ。現地リーダーの指導を受けてカヤックの練習をしました。しばらくセンター前の海で練習した後、隣の武田浜までツアー。そこでカヤックを海岸に上げ、しばらく泳ぎ、休憩の後またカヤックでセンターまで帰りました。ライフジャケットの塩抜きをして干し、プログラムを終了しました。すぐ入浴。

夕食後は食堂で学校生活についてなど語り合いました。それからセンターのスタッフが仕掛けておいてくれたえさに集まった夜行虫を見に棧橋まで行きました。プランクトンだとのことでしたが、たくさん集まってきれいに光っていました。私は初めて見たので感激しました。

10日は朝の集いから始まりました。グラウンドにセンターで宿泊している全員が集合し、みんなで船乗りの歌を歌い、旗を揚げ、体操をしてグループごとに名前の紹介があり、あいさつをして集いは終了しました。

朝食は食堂の指定の場所で、準備は盛り付け例を見て、後片付けもみんなでしました。食事は以前阿南海洋センターでキャンプしたときよりもおいしいとHHリーダーたちの評でした。

午前のプログラムはカヌー。聞こえる人は声でオールを合わせるが、ろう者は目でわかる必要があるので、船長と副船長の坐る場所が逆になります。すでに聞こえる人の配置で坐っていたので、オールを動かす合図は副船長がしました。合図用に紅白の旗を希望していましたが、ありませんでした。国際キャンプのときに手旗信号なども経験していたので、紅白の旗はあるものと思っていました。しかたなく適当に旗を準備していただき、合図に使いました。ろう者の場合は役割からすると、船長と副船長の乗る位置を逆にした方が良いのですが、それを理解してもらうのはすぐには無理で、結局船長と副船長の役割を変更することになりました。一日だけのことなので、それでも良いのですが・・・。

準備ができ、2艇に分乗し、カヌーをこぐ練習を少しして、そのまま野々島に向かいました。潮の流れの関係で一直線には行かず、現地リーダーの指示に従い迂回して野々島に着きました。昼食材料や水が届くまで海岸で泳いだり、魚やたこを探したり、サーフボード(波乗りではなく、立ってバランスをとる)に乗っ

て立ち、落ちてても落ちててもくり返し乗って楽しんでいました。

昼食は海岸でまきをたき、スパゲッティをゆでました。ソースは業務用のかん詰めを準備してくださっていたので、簡単にできました。そのため今年はT君が料理で力を発揮する場合はほとんどなく、火の準備や暑さのせいで疲れたのか、木陰で休んでいました。スパゲッティはおいしかった。

午後は水上運動会の予定でしたが、キャンパーは主にサーフボードに乗ってどちらが長く立っているかを競っていました。

お昼を過ぎて野々島に来た北村さんから「石橋さんがセンターの棧橋で野々島へ渡るためにモーターボートに乗ろうとしたとき、転んで額を打ち、指を骨折したようなので、牟さんと病院へ行かれた。」と知らされました。(後で額は何針か縫ったこと、指は幸い脱臼だったこと、宿泊しないで大阪に帰ると聞きました。)

野々島からの帰りもキャンパーはカヌーで、手話通訳者やワイズメンはモーターボートで帰りました。

夜は本館のレクチャールームでキャンプファイヤーをしました。そのとき各自がキャンプに参加した理由を発表していました。勧められて参加した人もいましたが、六甲山でのキャンプにも参加した2人はその時も楽しかったので、今年も参加しました。来年の国際キャンプにもぜひ参加したいと言っていました。それを聞いて何とか実現したいものだと思います。それにはミャンマーとの交渉を急がねばならないと思いますが・・・。

11日は朝の集い、朝食の後は本人たちの好みで、屋内でのクラフト(紙ひもで小カゴ作りか、海岸で拾った石にペイント)か、海でカヤックの3班に別れて活動しました。海に行ったグループは結局サーフボードの上に立つのをくり返したようでした。北村さんはペイントのすばらしい作品を仕上げられました。

今回のキャンプで新しい試みは、筆記用ボードの使用でした。日常的に手話を使っていないキャンパーがいたので、主としてリーダーの小山さんが筆記通訳してくれました。特に話しの場面では良かったと思います。

11日は帰阪するグループが多く、HHキャンプグループは1番に出発することになり、予定より少し早くセンターを出発しました。私は帰りも橋で下車しましたので、バスが出発して30分ほどで皆と別れて帰宅しました。

今年の参加者は、キャンパーが6人+2人(家庭の事情で2日間だけの参加)、HHリーダーも4人+2人(家庭の事情で1日だけの参加)等変更が多かったので、世話をしてくださったスタッフは大変だったと思います。

最後になりましたが、大阪YMCAクリスマス献金、チャリティーランの支援金、ワイズメンズクラブの助成金他いろいろな支援金を得て実施できたことに感謝します。今後とも御支援よろしくをお願いします。

【チャリティーラン実行委員会報告】

北村 知三

先日、28日(水)に行われました、第2回実行委員会に出席しました。今年も10月14日(月、祝)大阪城公園で雨天決行にて行われます。

これは、大阪YMCAのイベントで、中西部と阪和部のワイズメンズクラブが支援しています。日時は違いますが、YMCAチャリティーランは、全国のYMCAの大きなイベントとして例年行われています。大阪YMCAのHPの「新着情報」のトップにある「第19回大阪YMCA2013」をクリックして見て下さい。

大阪クラブは例年通り今年も5万円のエントリー費を寄付して、HHキャンプリーダー会などを主体にしたチームメンバーに走ってもらいます。また当日大阪クラブの役割は受付ですが、ランナーの雄姿も見ていただきまた応援もしていただくために、皆さん多くのメンバーのご参集をお願いします。今年、藤岡連絡主事が、大阪YMCAのチャリティーランの実行委員長でもあります。

実行委員会で決められたことで、2つのお願いがあります。

これはHHリーダー会の方々にお願ひしますが、チームエントリーの締め切りは9月20日ですが、今年にはできるだけ早くランナーを決めてほしいです。

9月10日の例会までにある程度決めて、メンバー名、年齢、生年月日、住所を記入して渡してもらえればありがたいです。できればHHキャンプに参加したキャンパーの人たちにも走ってもらえればありがたいです。

例年通り抽選券が配られ、当日の抽選会では上位当選者は豪華賞品、その他全員もれなく賞品が当たるそうですが、クラブとして54枚の抽選券を預かっております。3枚で¥1,000円です。9月例会で皆さんに配って名前を記入してもらった後、券代とともにその抽選券自体を回収しますので、よろしくお願ひします。

また別メールで、事務局よりオリジナルT-シャツ販売のお知らせがありますのでご覧ください。1枚¥1,500円です。ぜひご購入ご協力お願ひします。

HPにありますように、寄付・物品提供による支援もありますのでよろしくお願ひします。

このチャリティラン支援金は、「聴覚障がい青少年キャンプ」にも支援金として使われる予定です。

【大阪ワイズメンズクラブ85周年記念事業「聴覚障がい青少年育成基金への献金のお願ひ」】

85周年記念事業実行委員長 尾和信孝

クラブ会長 石橋ルキ

大阪ワイズメンズクラブは、社会奉仕活動の基幹事業として聴覚障がい青少年育成支援事業を、発展的に継続しております。今夏は国内HHキャンプを阿南で実施し、11月には創立85周年記念例会を開催いたしますが、この支援活動の更なる継続拡大のために、今年度100万円を目標として募金を行っております。

すでに、5,6人のメンバーから心のこもった献金をいただき感謝しております。

みなさま、今年度85周年記念行事を行う意味を深くご理解いただき、何卒皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

募金金額	100万円
	一口1万円 3口以上お願ひします
募集期間	2013年11月まで
振込先	三菱東京UFJ銀行 中之島支店
または 持参	普通預金口座 092-3826152
	口座名 大阪YMCA視聴覚障害青少年育成基金

【YMCAニュース】

大阪YMCA第19回チャリティーラン2013

日程：2013年10月14日(祝・月) 9:00開会式～12:30表彰式・閉会式

場所：大阪城公園 極楽橋北側広場・京橋口

競技：順位制、宣言タイム制、オープン制

エントリー費：1チーム 50,000円

エントリー締切日：9/20(金)

その他詳しくは別紙案内をご参照ください。

【今後の予定】

第2回実行委員会：8月28日(水) 19:00～20:30 *準備・役割分担確認

第3回実行委員会：9月25日(水) 19:00~20:30 *最終確認

第4回実行委員会：10月下旬 *評価会

大阪YMCA大会

日時：2013年11月30日(土) 13:00~16:00(予定)

詳細は、追ってお知らせいたします。

HH阿南キャンプ無事終了

日程：2013年8月9日(金)~11日(日)

参加メンバー：8名 リーダー：6名 手話通訳者：3名 ワイズメン：4名 引率指導者：2名

参加者が8名と少し寂しかったのですが、HHキャンプの思いはしっかりと参加者に伝わり、今後の活動につながるキャンプでした。コミュニケーションは、自分からとっていくことの大切さを共有したキャンプでした。

このキャンプは、大阪YMCA支援金プロジェクト、大阪ワイズメンズクラブの支援によって運営されています。

第245回大阪YMCA早天祈祷会

日時：9月20日(金) 7:30~8:30

場所：大阪YMCA会館 10Fチャペル

証し：大上 恭一 さん(元大阪YMCA職員)

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1. 六甲部会・・・9月7日(土)
2. 阪和部会・・・9月14日(土)
3. 中西部会・・・9月15日(日)
4. 西中国部会・・・9月28日(土)
5. 九州部会・・・9月29日(日)
6. びわこ部会・・・10月5日(土)
7. 瀬戸山陰部会・・・10月12日(土)~13日(日)
8. チャリティラン・・・10月14日(祝・月) 於・大阪城公園
9. 大阪クラブ85周年特別例会・・・11月2日(土) 午後2時~
10. 大阪YMCA大会・・・11月30日(土) 午後1時~

参加希望者は、牟 大盛書記宛(090-8195-0914 fax 06-7397-3337)ご連絡ください。

【CSより】

献品は下記住所をお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 : (06)6631-2169

【編集後記】

処暑が過ぎると、なんとなく秋を感じます。処暑とは、暑さがおさまるという意味であり、朝晩の涼しさが実感できるようになります。しかし、暑さがおさまると、二百十日(立春から数えて)の台風シーズンの到来です。自然災害のないことを祈らざるを得ません。今月は、メネット月間です。メネットは、クラブの宝です。メネットの活動を応援しましょう。(編集委員：松原伸幸)